

人のさいごに訪れる、自然な変化。 やさしく、ていねいに、 目を逸らさずに綴った小さい本。

この本は、看取りの場で出逢った人々から実際に「人は死ぬ時にどう変化していくのか」と問われてきた経験からうまれました。自分のいのちが閉じられていくことに気づいたとき、自らに訪れる変化を知っておきたいと願う人が多くいるのです。

人のいのちがどう閉じられていくのか、前もってその知識に触れておくことが、きっと大切な人と過ごす時間をかけがえのないものにしてくれる。わたしたちは、そう願っています。



人のさいご

発行：2024年6月
発行元：医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック

仕様：A5サイズ／48P
価格：550円（税込）

デザイン：本田篤司
イラスト：水上多摩江
文：尾山直子
校正：浅野千恵

企画・制作：
桜新町アーバンクリニック在宅医療部
桜新町ナースケア・ステーション
國居早苗（訪問看護認定看護師）
林瞳（緩和ケア認定看護師）
尾山直子（訪問看護師／進行・編集）
株式会社メディヴァ
神野真実（アートディレクション・編集）

印刷・製本：株式会社サンエムカラー

販売元：
医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック
一般社団法人コミュニティ&コミュニティホスピタル協会

本書の紹介

かつて人々は病院ではなく家で死を迎えており、「いのちを閉じていく」という営みは、暮らしのなかに息づいていました。対して現代では、8割近くの人が病院や施設で死を迎えています。それは、人がどのように老い、どのようにいのちを閉じていくのかという自然な経過を、暮らしのなかで学ぶことが難しくなった、ということでもあります。

この本では、人がいのちを閉じていくなかで生ずる自然な変化を、当事者であるご本人を含めあらゆる人が読んでいただけるよう、わかりやすい言葉で、丁寧に伝えています。人のさいごに寄り添い、看取りの技術を伝えつづける在宅医療・ケアの専門家が、患者さん方より多くの助言や励ましを受け、制作しました。

目次

はじめに

目次

人のさいご

- ・人のさいご、自然な経過
- ・病気によるプロセスの違いって？
- ・「いま」の時間を大切に
- ・「家族」ってだれのこと？

いのちを閉じていく自然な経過

- ・「急な変化」を感じる
- ・自分自身のこと集中していく
- ・食べること、飲むこと
- ・尿が少なくなっていく
- ・「身の置き所がない」という体感
- ・夢と現実が混ざりあう
- ・眠っている時間が長くなる

いのちを閉じるとき

- ・耳は聴こえている
- ・手足の色が変わる
- ・息づかいが変わっていく
- ・お別れするとき
- ・旅立ちのあとで

おわりに



特設 WEB サイト

<https://hito-no-saigo.studio.site/>



購入用 WEB サイト

<https://hito-no-saigo.stores.jp/>



企画・制作について

桜新町アーバンクリニック／桜新町ナースケア・ステーション

東京都世田谷区で外来・在宅医療等を行うクリニックです。「医療・看護・介護という領域を超えて、人々の生活や人生を豊かにする文化・地域を創り、育む」をミッションにかかげ、日々の診療やケア、文化活動に取り組んでいます。訪問看護、看護小規模多機能、居宅介護支援、世田谷区認知症在宅サポートセンター（世田谷区委託事業）などの多岐に渡る事業を展開しています。



株式会社メディヴァ

2000年設立の、総合ヘルスケア・コンサルティングファームです。国内外の医療機関、介護施設、行政、企業をクライアントに、開業・経営支援から、ヘルスケア事業の戦略立案、事業サポート、地域・自治体モデルの構築まで、多様な業務をコンサルタントがサポートします。患者さんと医療職、良い人材と医療界の橋渡しを行い、ヘルスケア分野における革新と価値創造の実現を目指しています。



この本を広めてくださるみなさまへ

「広めたい」と思ってください、ありがとうございます。

本書は書店さまへのお取り扱いを行っております。

お取引の条件などは、お気軽にお問合せください。

雑貨店、カフェ、文化や教育、ケアの施設など、書店以外の方のご連絡もお待ちしています。

問い合わせ先

ホームページ内の「お問合せフォーム」からご連絡ください。
担当者からお返事させていただきます。

<https://hito-no-saigo.studio.site/contact>

